動物用医薬品

子宮内膜炎、鈍性発情に
動物用「イソジン®」液

動物用医薬品
子宮注入剤・ヨウ素系消毒剤

動物用イソジン®液

（PVP-I 2%含有）

動物用医薬品
子宮注入剤・ヨウ素系消毒剤

動物用イソジン®液 10%

（PVP-I 10%含有）

特　長

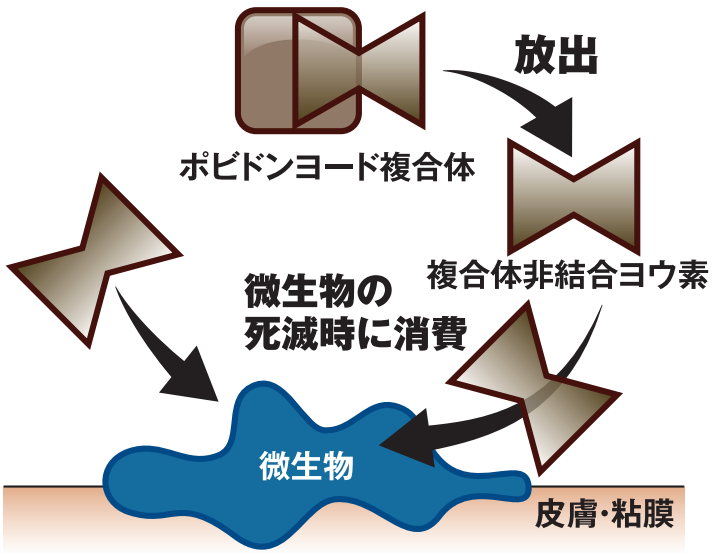
- 耐性獲得が無く、抗生物質耐性菌にも有効
- 細菌、真菌およびウィルス等、広範囲の微生物に強力な殺菌作用を示す
- 刺激性が低く、皮膚や粘膜の消毒に適している
- 潜在性および顕在性の子宮粘膜炎症組織に対し、自律浄化作用を促進し患部の修復力を高め、牛の卵巣機能を改善する

mundipharma ムンディファーマ株式会社

bah 物産アニマルヘルス

イソジン®の作用機序

細胞膜の感応性タンパク質の変性による溶解と細胞死



子宮内膜上皮から分離した菌に対する高い殺菌効果が認められた。

菌種	発育阻止率(%) 2.0% PVP-I
Trueperella pyogenes	100
Enterococcus spp.	99.9
Paenibacillus spp.	99.8
Achromobacter spp.	99.9
Corynebacterium spp.	99.9
Micrococcus spp.	100
Streptococcus spp.	100
Peptoniphilus spp.	100
Bifidobacterium spp.	100

MIDO S et al. J Vet Med Sci. 2016 May 3;78(4):551-6

動物用医薬品
子宮注入剤・ヨウ素系消毒剤

動物用イソジン®液

(PVP-I 2%含有)

成分及び分量

本剤は1mL中に日局ポビドンヨード20mg(有効ヨウ素2mg)を含有する。

効能又は効果

1. 畜産領域
   乳頭の消毒
2. 家畜診療領域
   (1) 細菌、糸状菌による皮膚感染症、外傷、手術部位の消毒
   (2) 牛:カタル性・化膿性子宮内膜炎、鈍性発情
   豚:カタル性・化膿性子宮内膜炎

用法及び用量

1. 畜産領域
   乳頭:搾乳後、本剤を適量乳頭に塗布又は噴霧する。
2. 家畜診療領域
   (1) 皮膚患部、手術部位:本剤を適量患部又は手術部位に塗布又は噴霧する。
   (2) 1回1頭あたり本剤50mLを牛又は豚の子宮内に注入する。

包装

500mL

動物用医薬品
子宮注入剤・ヨウ素系消毒剤

動物用イソジン®液10%

(PVP-I 10%含有)

成分及び分量

本剤は1mL中に日局ポビドンヨード100mg(有効ヨウ素10mg)を含有する。

効能又は効果

1. 畜産領域
   乳頭の消毒
2. 家畜診療領域
   (1) 細菌、糸状菌による皮膚感染症、外傷、手術部位の消毒
   (2) 牛:カタル性・化膿性子宮内膜炎、鈍性発情
   豚:カタル性・化膿性子宮内膜炎

用法及び用量

1. 畜産領域
   乳頭:搾乳後、ポビドンヨードとして2%(有効ヨウ素濃度0.2%)となる水溶液を適量乳頭に塗布又は噴霧する。
2. 家畜診療領域
   (1) 皮膚患部、手術部位:ポビドンヨードとして2%(有効ヨウ素濃度0.2%)となる水溶液を適量患部又は手術部位に塗布又は噴霧する。
   (2) 1回1頭あたりポビドンヨードとして2%(有効ヨウ素濃度0.2%)となる水溶液50mLを牛又は豚の子宮内に注入する。

包装

2L、5L

ご使用に際しては添付文書に記載された使用上の注意等をご確認下さい

®:イソジンおよびISODINEはムンディファーマの登録商標です。

製造販売元
ムンディファーマ株式会社
〒108-6019 東京都港区港南2-15-1

販売
物産アニマルヘルス株式会社
〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町2-5-7

JP-VET-2300002
2023年6月作成
5614LS